

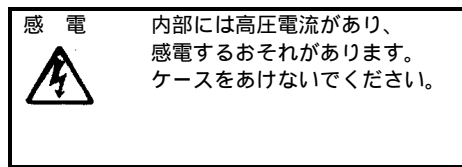
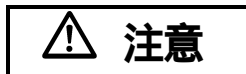
SH1211
SH1231
スイッチングハブ

取扱説明書

- ご使用になる前に、この「取扱説明書」をお読みください。
- お読みになった後は本書を必ず保管し、必要に応じてお使いください。



(表紙の裏)



廃棄上の留意点

破裂や有害物質発生のおそれがあります。廃棄する場合は、火中投入をしないでください。

本製品の保守部品の供給期間は、製造終了後 6 年間とさせていただきます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を構ずよう要求されることがあります。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 1999

はじめに

このたびは、SH1211, SH1231 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、SH1211, SH1231 の取り扱いの、基本的なことについて説明しています。

梱包物を確認してください。



SH1211またはSH1231
取扱説明書（本書）
電源ケーブル
モジュラコネクタ保護カバー
ゴム足

万一、不備な点がございましたら、恐れ入りますが、お買い求めの販売店まで
お申し付けください。










安全上の注意

本書では人身への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に使用して頂くために守っていただきたい事項を表示しています。

次の表示と図記号の意味・内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

 警告	この表記を無視して誤った取り扱いをすると、死亡や重傷等、人体への重大な障害をもたらす恐れのある内容について示しています。
 注意	この表記を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の障害をもたらす恐れのある内容について示しています。また、本装置や本装置に接続している機器に損傷を与える可能性がある事項についても示しています。

安全図記号の意味

図記号	図記号の意味
	注意： 注意事項を示しています。この注意を無視した場合、障害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
	感電注意： 誤った取扱いをすると、感電する可能性が想定されることを示しています。
	分解禁止： 装置の分解・改造することの禁止を示しています。装置の分解・改造により、損害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
	水場禁止： 水分の多い場所での使用禁止を示しています。水場での使用により、損害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
	接触禁止： 装置等の物に触れることの禁止を示しています。触れることにより障害の可能性が想定されることを示しています。
	禁止： 禁止行為を示しています。この禁止行為をすることにより、傷害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
	プラグを抜け： 電源プラグをコンセントより抜くことを指示しています。
	アースせよ： 装置を必ずアースに接続することを指示しています。
	せよ： 指示行為を示しています。使用者に行って頂きたい行為を示しています。

記号は注意（警告を含む）事項を示しています。








記号は禁止行為を示しています。




記号は使用者への行為の強制・指示を示しています。




安全上の注意

 警告

 プラグをコンセントから抜け	発煙への対処 万一、煙がでてい、へんな臭いがするなどの異常がありましたら使用を直ちに中止すること。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、煙などの異常が出なくなるのを確認し販売店などに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
 禁止	電源ケーブルの取り扱いに注意してください 電源ケーブルを傷つけ、破損、加工、無理な曲げ、引っ張り、ねじり、束ねたりしないこと。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
 接触禁止  プラグをコンセントから抜け	雷では装置に触れないでください 近くに雷が発生したときは、装置本体に触れないこと。また、電源ケーブル・プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電、故障の原因となることがあります。
 禁止	医療、航空宇宙、列車、運送、原子力等の制御設備へは使用しないでください。 医療機器、航空宇宙機器、運送、原子力等の制御設備などの人命に関わるシステムへの使用は意図しておりません。

 注意

 異物禁止  プラグをコンセントから抜け	異物や液体が装置内に入った場合の対処 装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください、また、水などの液体を入れないでください。万一、異物や液体が入った場合は、まず電源ケーブル・プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。そのまま使用すると、感電、故障の原因となります。
 異物禁止	コネクタ部に異物を差しこまないでください インターフェースコネクタに適合するコネクタ以外のものを絶対に差し込まないこと。感電、故障の原因になります。

 分解禁止	<p>分解・改造しないでください 装置の蓋を開けたり、分解、改造しないこと。怪我、感電、故障の原因となります。本装置の分解、改造による怪我や事故について、当社は責任を負いかねます。</p>
 アースせよ  感電注意	<p>必ずアースを接続してください 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ず装置のアースを接続すること。 アースは電源ケーブルにより設置工事（第3種）が行われている接地端子付き電源コンセントへ接続してください。</p>
 AC100V 以外禁止	<p>国内のみで使用してください 本装置は日本国内の商用AC100V電源仕様です。海外では使用できません。AC100V意外では絶対に使用しないでください。また、電源の分岐によるタコ足配線はやめてください。火災、感電の原因になります。</p>
 固定せよ	<p>装置を固定してください 本装置を高所に設置する場合、落下を防ぐため装置の固定を行うこと。固定を行わないと落下による怪我、破損の原因になります。</p>
 配線注意	<p>ケーブルの処置について 本装置に接続する通信ケーブル/コード類は足などに引っかけないように適切な引き回し配線、固定など処置を行ってください。転倒による怪我、破損の原因になります。</p>
 接触注意	<p>濡れた手での操作は避けてください 濡れた手で電源ケーブル・プラグを抜き差ししないでください。また、装置に触れないでください。感電の原因となることがあります。</p>
 接触注意	<p>高温下、低温下では触らないでください 本装置は金属きょう体を仕様しています。高温下や低温下で放置した場合などは装置に直接触らないでください。火傷や凍傷の原因となることがあります。</p>
 接触注意	<p>金属アレルギーの方は触らないでください 本装置のきょう体やネジ、コネクタ部には、亜鉛、ニッケル、すず、金などのメッキが施されています。これらの金属に対してアレルギー反応を示す方は直接触れるのを避けてください。湿疹、かぶれの原因となることがあります。</p>
 幼児注意	<p>幼児の手の届かない場所に置いてください 本装置に添付されているダストカバーを取り外した場合など幼児が飲み込まないように注意してください。また、装置開封後の包装ポリ袋を幼児がかぶって窒息などしないように注意してください。</p>

使用上の注意





 注意

 上積み禁止	<p>装置上に直接物を置かないでください 本装置の上に物を載せないでください。また、本装置を直接積み重ねてのご使用は避けてください。故障の原因となることがあります。</p>
 近傍設置禁止	<p>ラジオやテレビの近くに置かないでください 本装置をラジオやテレビのそばで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が入ることがありますので注意してください。</p>
 活線挿抜禁止	<p>通信ケーブルの接続 / 断線は電源OFFにして行ってください 本装置への通信ケーブル類は活線挿抜しないでください。ケーブルの抜き差しは、必ず本装置または相手装置の電源がOFF状態にて行ってください。感電、故障の原因になることがあります。</p>
 引っ張り禁止	<p>ケーブルを強く引っ張らないでください 装置に接続したケーブル類を無理に引っ張らないでください。また、電源は必ず電源ケーブルのプラグを持って抜き差ししてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが破損し、障害の原因になります。</p>
 冗長設計せよ	<p>冗長設計・安全設計にしてください 本装置を、高度な信頼性を必要とするシステムに使用する場合は、冗長設計、誤動作防止設計など十分な安全設計を必ず行ってください。本装置の故障、傷害により生じるいかなる損害、事故について当社は責任を負いかねます。</p>
 ほこり注意	<p>長期間使用しないポートの処理及び、装置の清掃について 長期間使用しないインタフェースポートは、埃などが入らないようにしてください。接触不良などの原因になります。 また、装置に埃などが付着すると放熱特性が低下し、故障の原因になりますので、下記の「お手入れについて」に従って清掃してください。</p>
 薬品注意	<p>お手入れについて 汚れはやわらかい布によるからぶきか、水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど（揮発性のもの）の使用は避けてください。また、殺虫剤などの薬品がかからないようにしてください。</p>
 廃棄注意  不法投棄禁止	<p>本装置の廃棄は、産業廃棄物として処理してください 本装置を廃棄するときは、産業物処理法に基づき産業廃棄物として管理型処分場へ廃棄処理してください。不法投棄はおやめください。 また、梱包材についてはリサイクルまたは各自自治体における適切な処分を行ってください。</p>
 使用注意	<p>故障、破損時の処理について 本装置が故障もしくは破損した場合は、速やかに使用を中止して販売店などに修理依頼してください。そのまま使用しますと火災、感電、怪我の原因になるおそれがあります。</p>

設置・使用条件

 注意

 感電注意	正しい電源条件で使用してください 電源電圧 : AC100V ± 10% 電源周波数 : 50 / 60 Hz + 2%, - 4% 消費電力 : SH1211 (17W), SH1231 (42W)
 湿度・温度注意	適切な温度・湿度条件で使用してください 温度 : +5 ~ +40 湿度 : 20% ~ 80% (結露しないこと)
 高温・低温使用禁止	高温・低温では使用しないでください 極端な高温、あるいは低温状態や温度変化の激しい場所には設置、使用しないでください。故障の原因になります。 本装置の使用温度範囲を守ってください。
 高温設置禁止	高温度の高いところへの設置は避けてください 直射日光のあたる場所や発熱機器 (ストーブ、コンロなど)、火気のそばでは使用しないでください。故障の原因になります。
 水場使用禁止	水場では使用しないでください 水場など水のかかりやすく、湿気の多い場所では使用しないでください。 本装置は防水処置されておりません。感電、故障の原因になります。 本装置の使用湿度範囲を守ってください。
 塵埃環境使用禁止	埃の多い場所では使用しないでください 床や窓の近くなどほこりの多い場所では使用しないでください。 コネクタの接触不良など故障、感電の原因になります。 また、装置に埃などが付着すると放熱特性が低下し故障の原因になります。
 不安定場所設置禁止	安定した場所へ設置してください。 本装置をぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。また、強い衝撃や振動の加わる場所での使用を避けてください。落下による怪我、破損、故障の原因になります。
 垂直設置禁止	垂直に立てた状態での使用は避けてください 本装置を垂直に立てた状態または、立てかけた状態で使用しないでください。垂直設置は通気孔をふさぐことになり、障害や故障の原因になります。また、転倒による怪我、破損、故障の原因になります。
 ガス環境使用禁止	特殊環境での使用は避けてください 本装置を薬品の噴霧気中や薬品にふれる場所などガス発生環境下では使用しないでください。腐食などによる破損、故障の原因になります。

 強磁界環境 使用禁止	<p>強磁界が発生する場所では使用しないでください 本装置をモータや大電流ケーブルなど、強い磁界を発生する機器のそばでの使用は避けてください。外来ノイズにより誤動作や故障の原因になります。</p>
 通気性注意	<p>通気孔を塞がないでください 本装置は内部の熱を逃がすため、両側面及び後面に通気孔が設けてあります。通気孔をふさがないように、通気性のよい場所に設置してください。通気孔をふさぐと装置内に熱がこもり障害や故障の原因になります。</p>
 エリア確保	<p>サービスエリアを設けてください 本装置の通気孔の確保およびケーブル処理に必要な空間をとってください。装置を並べて使用する場合でも各々に必要なサービスエリアを設けてください。ケーブルの障害や故障の原因になります。</p>
 搬送注意	<p>装置の搬送について 本装置の設置時や移設の際は、装置の両側を両手でしっかりと持ってください。片手で持つなどした場合、手がすべり落下などして怪我や破損しないように注意してください。</p>

MEMO

目次

1. 概要	1
1.1 特長	1
1.2 機能	1
1.3 仕様・外観	2
2. 接続方法	4
2.1 スイッチングハブを単独で使用する場合	4
2.2 AUIと接続し使用する場合(SH1231のみ)	6
2.3 電源を接続する場合	7
3. システム構成例	8
3.1 小規模システム	8
3.2 中規模システム	9
4. 表示・操作・トラブルシューティング	10
4.1 表示機能	10
4.2 操作機能	11
4.3 トラブルシューティング	12
5. 環境条件	13
5.1 電氣的条件	13
5.2 環境条件	13
5.3 設置条件	14
付録	16

1. 概要

1.1 特長

1.1.1 SH1211

SH1211 は、100BASE-TX または、10BASE-T を接続するスイッチング ハブ です。

本装置の特長は、以下のとおりです。

- (1) 10BASE-T ポートを 8 ポート持っています。10BASE-T 半二重の通信ができます。
- (2) 100BASE-TX /10BASE-T ポートを 2 ポート持っています。
設定により、100BASE-TX 半二重、100BASE-TX 全二重、
10BASE-T 半二重、10BASE-T 全二重の通信ができます。
10 ポート目は、スイッチ切換によりカカード接続（多段接続）が可能です。
- (3) 10BASE-T ポートは IEEE802.3 に準拠しています。
- (4) 100BASE-TX /10BASE-T ポートは IEEE802.3u に準拠しています。
- (5) 小型、軽量、低消費電力を実現しています。
- (6) ツイストペアケーブルは 100m まで接続できます。

1.1.2 SH1231

SH1231 は、100BASE-TX または、10BASE-T を接続するスイッチング ハブ です。

本装置の特長は、以下のとおりです。

- (1) 10BASE-T ポートを 16 ポート持っています。10BASE-T 半二重の通信ができます。
- (2) 9 ポート目は、Select [AUI/ Port9]スイッチ切換により、AUI または、10BASE-T を選択し通信ができます。
- (3) 100BASE-TX /10BASE-T ポートを 2 ポート持っています。
設定により、100BASE-TX 半二重、100BASE-TX 全二重、
10BASE-T 半二重、10BASE-T 全二重の通信ができます。
18 ポート目は、スイッチ切換によりカカード接続（多段接続）が可能です。
- (4) 10BASE-T ポートは IEEE802.3 に準拠しています。
- (5) 100BASE-TX /10BASE-T ポートは IEEE802.3u に準拠しています。
- (6) 小型、軽量、低消費電力を実現しています。
- (7) ツイストペアケーブルは 100m まで接続できます。
- (8) AUI ケーブルは、1m ~ 50m の間でご使用ください。

1.2 機能

SH1211/SH1231 の主な機能は、以下のとおりです。

- (1) ストア・アンド・フォワードによりスイッチングを行います。
- (2) 装置全体で 2000MAC アドレスの学習を行います。
- (3) 100BASE-TX の各ポートにおいて 148810 バイト/秒、
10BASE-T ポートにおいて 14880 バイト/秒の性能を持ちます。
- (4) 100BASE-TX のポートは、オートネゴシエーション及び、固定による、全二重・半二重の設定が可能です。
10BASE-T ポートは、半二重のみの設定となります。
- (5) 本装置が中継するフレームの最大長は 1536 バイトです。
- (6) 本装置で学習されたアドレスは、4 ~ 12 分間以上アクセスされないと、自動的にエージングを行います。

1.3 仕様・外観

SH1211/SH1231 の仕様を表 1-1 に、外観を図 1-1 に示します。

表 1-1 SH1211/SH1231 仕様

項目		仕様
準拠規格		IEEE802.3u/IEEE802.3
ポート数	8 ビットシリアルコネクタ	10 ポート (SH1211) / 18 ポート (SH1231)
	AUI コネクタ	- (SH1211) / 1 ポート (SH1231)
外観寸法 (mm)		350 (W) × 44 (H) × 245 (D)
重量 (kg)		3.5 (SH1211) / 3.8 (SH1231)
熱量 (kJ)		62 (SH1211) / 152 (SH1231)

IEEE : Institute of Electrical and Electronics Engineers
米国電気電子技術者協会の略称

ISO : International Organization for Standardization
国際標準化機構の略称

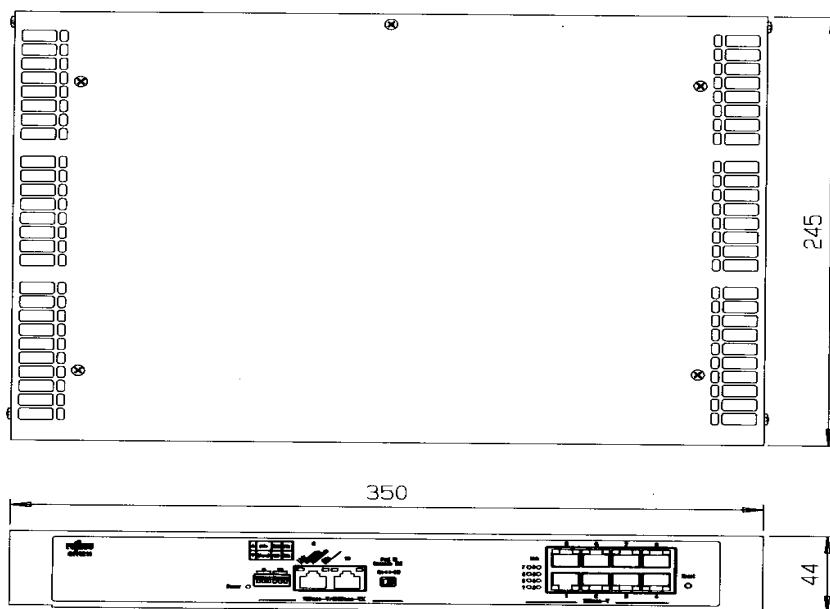


図 1-1 SH1211スイッチングハブ外觀図

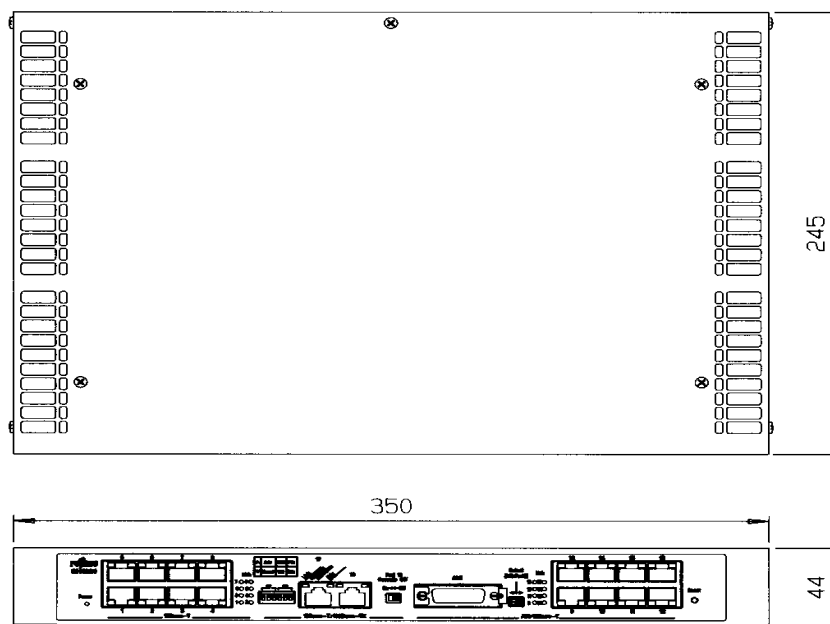


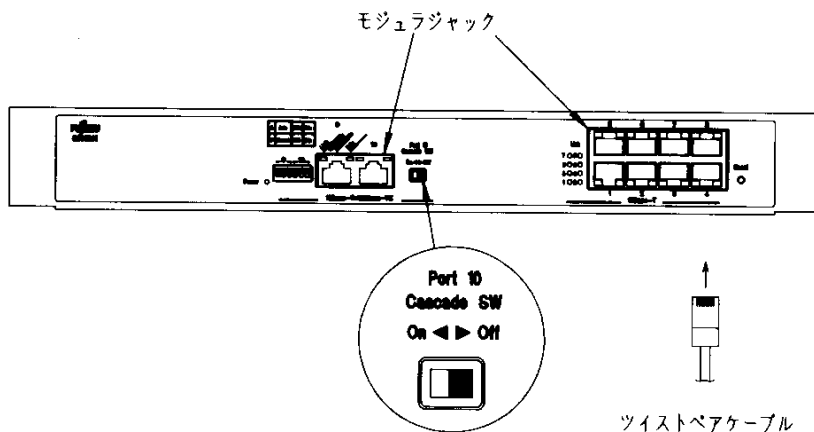
図 1-2 SH1231スイッチングハブ外觀図

2. 接続方法

本装置をラックに搭載して使用する場合は、「ブラストライバ」が必要です。搭載方法の詳細は、「5.3(2)」をご参照ください。

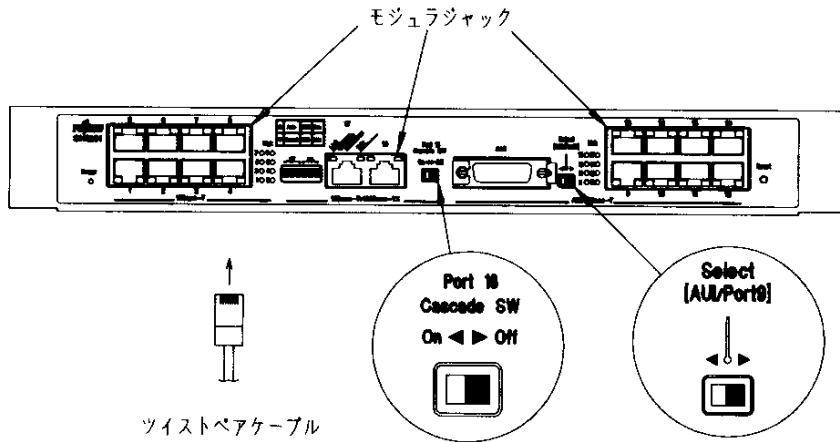
2.1 スイッチングハブを単独で使用する場合

- (1) SH1211 / ツイストペアケーブルの接続
モジュラージャックのダストカバーを取り外します。
ツイストペアケーブルをモジュラージャックに『カチ』と音がするまで差し込んでください。
10ポート目は、Cascade SW の設定を正しく行ってください。



(注1) 使用可能なツイストペアケーブルは、STP、UTP および FTP です。

- (2) SH1231 / ツイストペアケーブルの接続
 Select [AUI/Port9]スイッチを Port9 側に設定してください。
 モジュラージャックのダストカバーを取り外します。
 ツイストペアケーブルをモジュラージャックに『カチ』と音がするまで差し込んでください。
 18ポート目は、Cascade SW の設定を正しく行ってください。



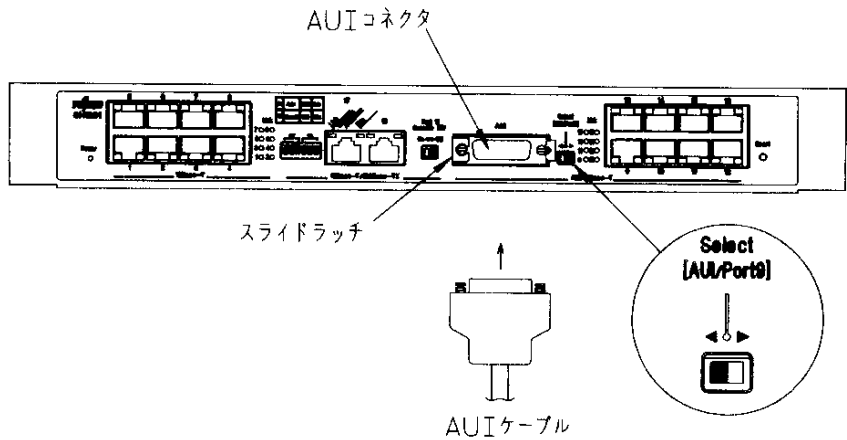
(注1) 使用可能なツイストペアケーブルは、STP、UTP および FTP です。

2.2 AUIと接続し使用する場合 (SH1231のみ)

Select [AUI/Port9]スイッチを AUI 側に設定してください。

接続するトランシーバの SQE 機能を有効にしてください。

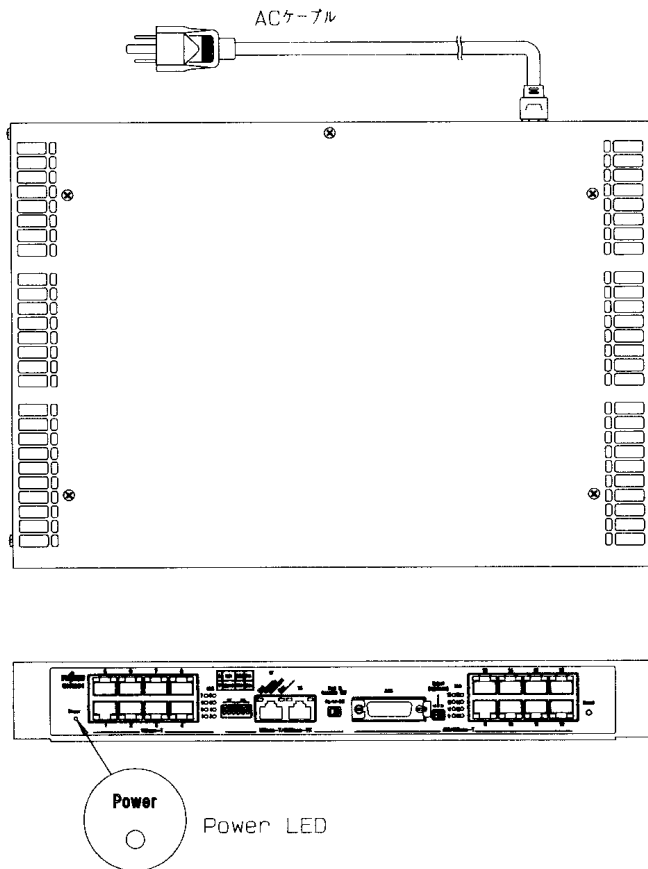
スライドラッチを右側 (解除) に『カチ』と音がするまでスライドさせ、トランシーバに接続されている AUI ケーブルを本装置の AUI コネクタに接続後、スライドラッチを左側 (固定) に『カチ』と音がするまでスライドさせます。



2.3 電源を接続する場合

本装置には電源スイッチがありません。ACケーブルを本体の電源ソケットに接続してから電源プラグをAC100Vコンセントに差し込むと、装置の電源が投入されます。PowerのLEDが点灯していることをご確認ください。

なお、AUIケーブル及びツイストペアケーブルを使用する場合には、ケーブルを接続してからACケーブルを接続してください。



⚠ 注意



・装置のアースを必ず接続してください。アースを接続しないと、感電の原因となります。

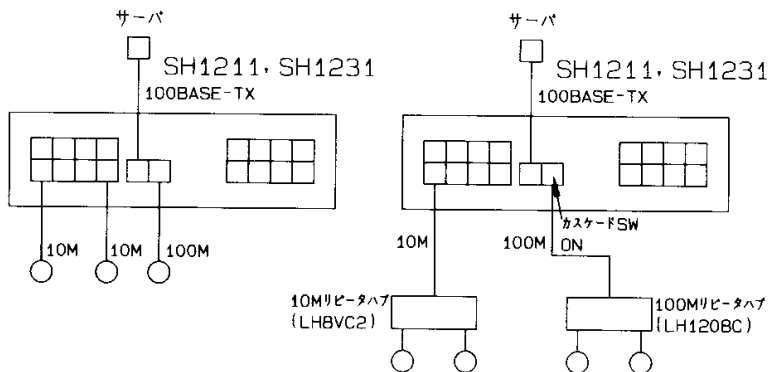


・使用するコンセントの形状が電源ケーブルのプラグと合わない場合は、変換プラグをご用意ください。安全上、変換プラグのアース線は必ず設置接続してください。感電の原因となります。

3. システム構成例

3.1 小規模システム

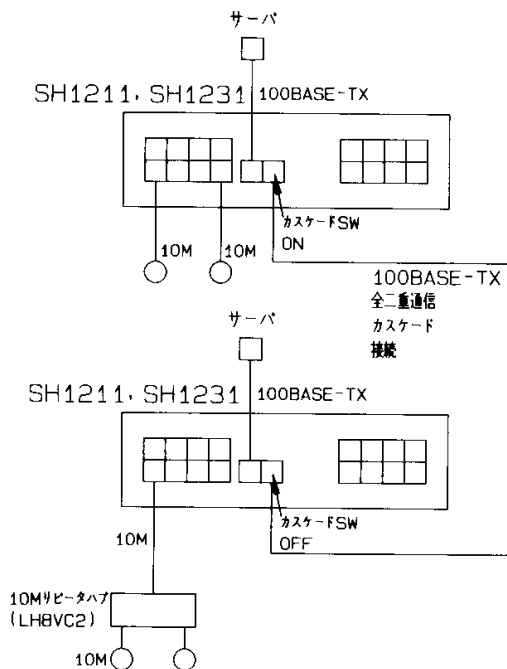
- SH1211,SH1231 を中心とした、スター型の配線。
- トラフィックが集中するサーバは、100Mbps で接続。
- クライアントは、SH1211,SH1231 に直接接続することにより、10Mbps または 100Mbps を専有。
- 100 Base-Tx 光アダプタを、カスケード接続することによりグループで、100Mbps を共有。



注) カスケードポートの無いハブ及び、カスケードポートを使用中のハブにカスケード接続する場合は、カスケードアダプタ (F9190HC5)をご使用ください。

3.2 中規模システム

- 100Base-Tx ポートで、SH シリーズを 4 台までカスケード接続することができます。SH1211/SH1231 間は、100Base-Tx ポートを全二重通信（Full duplex）に設定することにより 200Mbps の帯域幅で接続することができます。
- クライアントは、SH1211,SH1231 に直接接続することにより、10Mbps または 100Mbps を専有。
- 10 Base-T 対応ハブを、カスケード接続することによりグループで、10Mbps を共有。
- 100Base-Tx 対応ハブを、カスケード接続することによりグループで、100Mbps を共有。



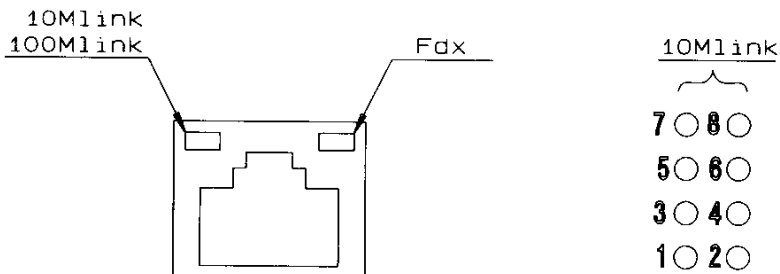
注) カスケードポートの無いハブ及び、カスケードポートを使用中のハブにカスケード接続する場合は、カスケードアダプタ (F9190HC5) をご使用ください。

4. 表示・操作・トラブルシューティング

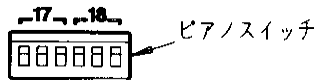
4.1 表示機能

表示機能を以下に示します。

機能	表示文字	LED色	表示	表示条件
電源表示	Power	グリーン	点灯	電源が投入されていることを示します。
			消灯	電源が未投入であることを示します。
リンク表示 10M/100Mポート	10Mlink	グリーン	点灯	10Mのリンク状態を示します。
	100Mlink	アンバ	点灯	100Mのリンク状態を示します。
全二重表示 (各ポート)	Fdx	グリーン	点灯	全二重で送受信することを示します。 オートネゴシエーション設定時はオートネゴシエーション終了後、全二重に設定された時のみ点灯します。
リンク表示 10Mポート	ポート番号	グリーン	点灯	10Mのリンク状態を示します。



注) ・ピアノスイッチで全二重に設定した場合は、リンクレバの時でも Fdx の LED は点灯し、全二重表示されます。



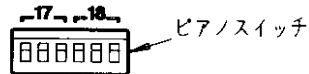
- ・本装置の 10M 半二重 / 全二重に固定設定したポートに、100M 半二重 / 全二重に固定設定された端末を接続した場合、本装置の Link LED が点灯する場合があります。
- ・ピアノスイッチは接続相手装置に合わせて、正確に設定してください。

4.2 操作機能

操作機能を以下に示します。

操作	スイッチ形状	ロック/ノック	表示条件			
リセット	プッシュスイッチ	ノック	Reset	本装置をリセットします。これにより登録していた MAC アドレスは消去されます。		
接続形態選択	ピアノスイッチ	ロック	10 Base-T/100Base-TX ポート (対応ポート: SH1211 は 9/10 ポート、SH1231 は 17/18 ポート。) オートネゴシエーションで使用する場合、対象ポートのピアノスイッチを Auto 側に設定してください。			
			Auto	100M	Fdx	オートネゴシエーション
			Manual	100M	Hdx	100BASE-Tx 半二重
			Manual	100M	Fdx	100BASE-Tx 全二重
			Manual	10M	Hdx	10BASE-T 半二重
			Manual	10M	Fdx	10BASE-T 全二重
カスケード	スライドスイッチ	ロック	On・Off	ル7 などにかスケード接続する場合はスイッチ On、端末などに接続する場合は、スイッチ Off に設定してください。		
AUI/Port9 切換	スライドスイッチ	ロック	AUI	AUI ポートでの通信が可能となります。		
			Port9	Port9 での通信が可能となります。AUI Port での通信はできません。 (対応ポート: SH1231 のみ)		

注) ・ピアノスイッチによりポートモード: Select [AUI/ Port9]スイッチを変更する場合、設定を有効にするには、装置をリセットする必要があります。



- ・リセットする場合は、設定に影響があるので、通信を止めて行ってください。
- ・10BASE-T/100BASE-TX ポートでピアノスイッチの設定をオートネゴシエーションにした場合、接続相手が固定設定(半二重/全二重に関わらず)であると、本装置は半二重で接続します。全二重に固定した装置と接続する場合は、接続相手に合わせて、Manual/ Fdx / 10M/100M をピアノスイッチにて選択し、本装置も全二重固定に設定してください。

4.3 トラブルシューティング

ご使用中に何らかの異常が発生し、修理を依頼する前に以下の項目の確認をお願いします。確認後も正常に動作しないときは、販売店にお持ちくださるか、弊社サービスマンにご連絡ください。

Power LED が点灯しない場合

- (1) 電源プラグがコンセントに確実に接続されていますか。
- (2) コンセントには AC100V が供給されていますか。

全ポートの通信ができない場合

- (1) モジュラが正しく接続されていますか。
- (2) ツイストケーブルに断線、ショートはありませんか。
- (3) 対向するポートのリクエストが正しく実施されていますか。
- (4) ケーブルは、長すぎませんか? ツイストケーブルは 100m までしか接続できません。

特定ポートの通信ができない場合

- (1) 100BASE-TX ポートをオートネゴシエーションに設定している場合、接続相手によって接続できない場合があります。ピアスイッチを相手に合わせて、再度接続し直してください。
- (2) カスケード接続する場合、クロスバーファンクションをおこなわなければなりません。カスケードスイッチ On にするかカスケードアダプタを接続してください。
- (3) 通信できないポートに接続したケーブルを他ポートに接続を変更してください。
 - ポートを変更したことにより、通信が可能になった場合は、ポートの故障です。
 - ポートを変更しても通信できない場合は、ツイストケーブルの不良または接続相手の故障が考えられます。

パケットが破棄される場合

- (1) 接続と半二重 / 全二重は一致していますか。Fdx LED で確認してください。一致していない場合、ピアスイッチにて一致させてください。
- (2) 接続相手が全二重固定の設定の場合、本装置も接続相手に合わせて全二重固定の設定にする必要があります。

LED とピアスイッチ(スライトスイッチ)の設定が一致しない場合

ピアスイッチ・Select [AUI/ Port9]スイッチの設定を変更した場合、設定を有効にするには装置をリセットする必要があります。Reset スイッチを押してみてください。

注) Reset スイッチを押すことにより、全ポートの通信が一瞬切れますので、ご注意ください。

BPDU 及び、PAUSE パケットの処理について

本装置では、BPDU・PAUSE パケットは中継されます。

5. 環境条件

5.1 電気的条件

電源電圧	AC100 V ±10%
周波数	50/60 Hz +2% -4%
消費電力	17 W (SH1211) 42 W (SH1231)
ACコード	3P 平行アース付 1.8m

5.2 環境条件

下記環境下でご使用ください。

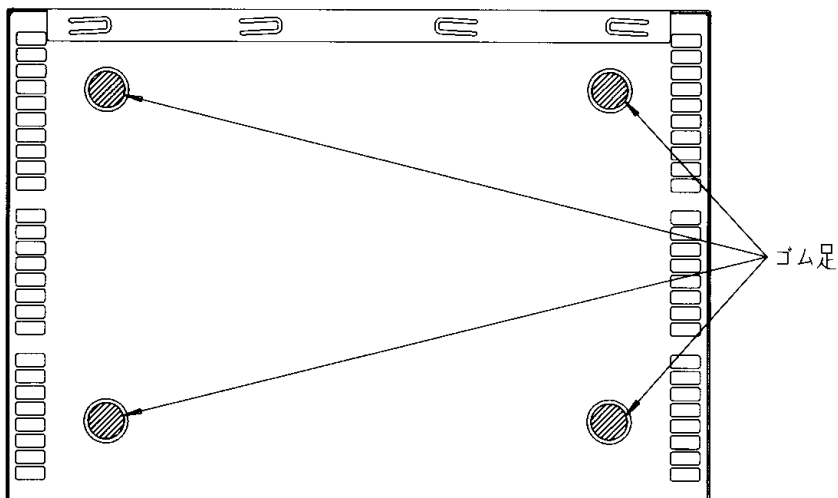
温度	動作時	5 ~ 40	結露なし
	休止時	0 ~ 50	
湿度	動作時	20 ~ 80%	
	休止時	8 ~ 90%	
浮遊塵埃		0.15mg / m ³ 以下	

注) 落雷の多い地方やE-タ等の近くで本装置を使用する場合は、電源ラインや各信号ラインに対してサージ保護機器を接続してください。過度の外來サージは故障の原因となります。

5.3 設置条件

- (1) 本装置を設置するときは水平設定とし、付属のゴム足を装置底面に貼り付け、安全で平らな表面の上に置いてください。

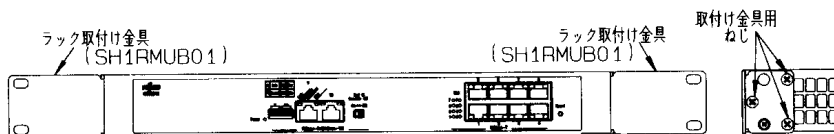
ゴム足は装置底面の凸部（4箇所）に合わせて貼り付けてください。



なお、本装置の垂直設置や立てかけた状態でのご使用はおやめください。

注) 本装置を EIA19 インチラックに取り付けてご使用になる場合は、ゴム足を取り付けないでください。

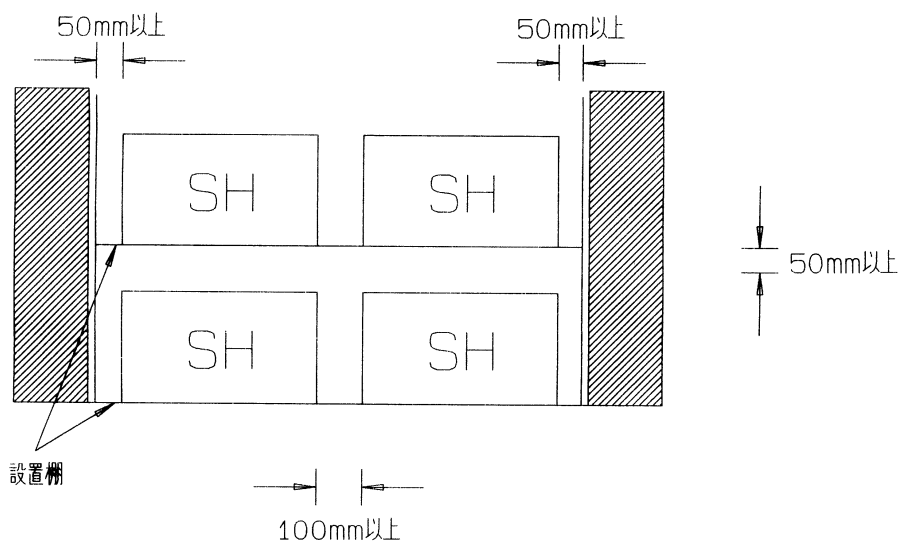
- (2) おプションのラック取り付け金具(SH1RMUB01)をオプションのねじで本装置に取り付けることで、EIA19 インチラックへ固定できます。



注) ・SH1211, SH1231, SH1511, SH1531 の取り付け金具はすべて共通です。

・本装置を EIA19 インチラックに取り付けてご使用になる場合は、ゴム足の付いていないことをご確認ください。

- (3) 本装置を設置するときは、壁側より 50mm 以上の間隔をあけてご使用ください。
また、本装置を上下に重ねて設置する場合は、図のように 50mm 以上間隔をあけて、さらに、本装置を並べて設置する場合は、図のように 100mm 以上の間隔をあけてご使用ください。



付録

1. 100BASE-TX/10BASE-T、10BASE-T インタフェース

- (1) 接続コネクタ
8ピンモジュラージャック (ISO8877)
- (2) 端子対応

ピン	信号
1	R D +
2	R D -
3	T D +
4	未使用
5	未使用
6	T D -
7	未使用
8	未使用

2. AUIインタフェース

- (1) 接続コネクタ
15ピンDsubコネクタ (IEC807-807-2[7])
- (2) 端子対応

ピン	信号	ピン	信号
1	CI-S	9	CI -
2	CI+	10	DO -
3	DO+	11	DO-S
4	DI-S	12	DI -
5	DI+	13	Vp
6	Vc	14	Vs
7	未使用	15	未使用
8	CO-S		

MEMO

MEMO

ハブユニット(SH1211/SH1231)

取扱説明書

発行日 1999年12月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。

無断転載を禁じます。

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

M-E-99036

FUJITSU